

令和7年度 県立健康科学研究所外部評価専門委員会【事前評価】

個票 No.	研究課題名	評価 結果	コメント
1	食品等に含まれる健康影響物質の分析法に関する研究	採択	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検査の必要が生じた際に、迅速かつ正確に結果を得るための研究であり、重要度は高い。兵庫県限定ではないが、全国の検査機関にも役立つ・波及効果のある研究である。 ・ 食品及び混入する健康影響物質は多種多様で分析法も多様である。事前にマトリックス効果、精度管理、迅速性の検討は重要な課題である。 <hr/> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TOF-MSや適切な内部標準の選定でスクリーニングを改善できるのではないかと。全国の学会、英文誌への投稿など、レベルの高いアウトプットを目指してほしい。 ・ 抽出方法を多方面から検討してはどうかと思われる。 ・ 平素の業務での課題等を考慮し、優先順位を明確にし、効果的な研究計画を基に推進されることを期待する。
2	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(GRE)のゲノム解析	採択	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤耐性菌の研究は極めて重要と考える。詳細な遺伝子解析により伝播の追跡が可能となり、新たな検出方法の開発にもつながる。 ・ 県下のデータを集めることも重要である。 ・ 薬剤耐性菌対策は極めて重要な課題であり、現場に近い自治体の研究所として、国等の研究機関とも連携し、効果的かつ有用な研究成果が期待される。 <hr/> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全塩基配列を解析しつつ、目的に応じた標的遺伝子を絞り込むことを期待する。全国の学会、英文誌への投稿など、レベルの高いアウトプットを目指してほしい。 ・ 成果に関しては、学会発表や論文発表を精力的に行ってほしい。特に、世界に情報を発信するために英語論文の発表を薦める。 ・ 保健所、医療機関等との連携により、円滑な研究遂行を期待する。

令和7年度 県立健康科学研究所外部評価専門委員会【事後評価】

個票 No.	研究課題名	評価 結果	コメント
1	LC-MS/MSを用いた 自然毒成分の検査 方法の確立	採択	<p>【評価の結論に至った理由・考え方】</p> <ul style="list-style-type: none">・複数の自然毒成分の検査法を構築しており、将来の発生事例に対応できる十分な研究成果を挙げたものと評価する。・突発的に発生し、重篤な症状も呈する自然毒について、多くの植物性、動物性の毒性分の試験法の確立は研究所の重要な役割である健康危機管理への対応に多大に貢献した。・重要な研究であると思われる。成果がでている。 <hr/> <p>【提案機関へのアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none">・食中毒の毒素解析の必要性は高く、今後も、毒性成分の特性などに応じた最適な前処理、分析方法を検討頂きたい。・毒性物質の代謝についても考慮にいった前処理法が必要である。・得られた成果および情報を一般にも広く知らせてほしい。・得られた成果はより多くの人に知ってもらうために、地方の学会のみならず、全国の学会で発表頂きたい。成果はできるだけ英文誌（学術誌）に公表し、それをもとに、より優れた検査方法を構築するための外部資金等の獲得にもつなげて頂きたい。